

登録橋梁基幹技能者 平成25年度試験問題

[解答作成の注意事項]

1. この試験問題は、**四肢択一式 50 問で全て必須**です。問題ごとに正解は1つしかありません。1問につき2つ以上解答すると、その問題の解答は無効になります。
2. 解答は、解答**用紙に記入**してください。
3. 解答用紙の所定欄に、**受講番号**を記入して下さい。（氏名を書く欄はありませんので、受講番号を間違えないように注意してください。）
4. 解答記入は鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから新しく記入してください。

[その他の注意事項]

1. 試験係員の「始め」の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 「始め」の合図があったら、ただちにページ数の不足および印刷の不鮮明なところがないことを確かめて下さい。もしあったら取り替えますから、手をあげて試験係員に申し出て下さい。
3. 試験問題の内容についての質問には、お答えできません。
4. 式あるいは文章等を記憶する機能を有する計算機（例えば、ポケットコンピュータ、電子手帳等）・携帯電話機は、使用を禁止します。
5. この試験の解答時間は、「始め」の合図があってから **1 時間 30 分**です。**試験開始後 1時間および終了前 10 分間は退場できません。**
6. 試験開始後 1 時間から試験終了前 10 分までの間に途中退場を希望する人は、解答用紙および試験問題用紙を机の上に裏返しにして置き、手をあげてから、試験係員の指示を得て、静かに退場して下さい。ただし 16 時 30 分から終了式を行いますので、時間になったら席についてください。
7. 「終り」の合図があったら、ただちに解答の作成をやめ、解答用紙を机の上に裏返しにし、試験係員が回収するまでそのまま待っていて下さい。試験終了後は試験問題用紙を持ち帰ってもかまいません。

受講番号 _____

- ・ 途中退場して試験終了後に本試験問題用紙を受取りにくる場合、あらかじめここに受講番号を記入して下さい。（自分のものであることの確認のため）

安全管理の問題

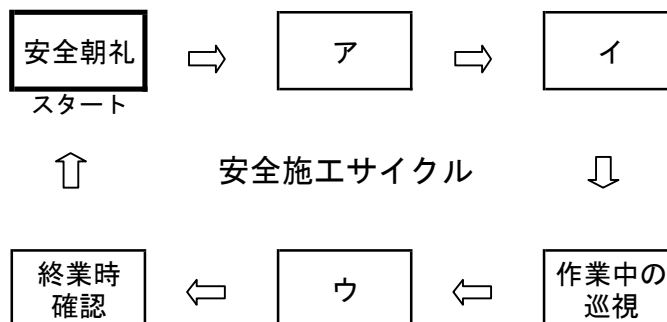
- 1) 労働災害について、(ア)に当てはまる正しいものを下の①～④より選択しその番号で答えなさい。

生産活動に従事していた労働者が被災した災害を労働災害といい、単なる物的損傷のみの場合は含まず、労働者の生命および身体にかかわる災害に限られる。労働災害としては、死亡・負傷はもちろん、有機物質に長期間曝露されることにより生じる(ア)や職業性疾病も含まれる。

- ① 身体異常 ② 健康障害 ③ 健康災害 ④ 薬品障害

- 2) 現場における安全施工サイクルの例について、ア、イ、ウの順序で正しいものを解答群①～④より選択しその番号で答えなさい。

安全で、より効果的な施工をするために、安全朝礼で始まり、終業時確認で終わる安全施工サイクルを、毎日確実に繰り返し実施し、仲間の誰一人怪我をさせず良い仕事をする、そんな意識を高めて継続的に実行することが重要である。



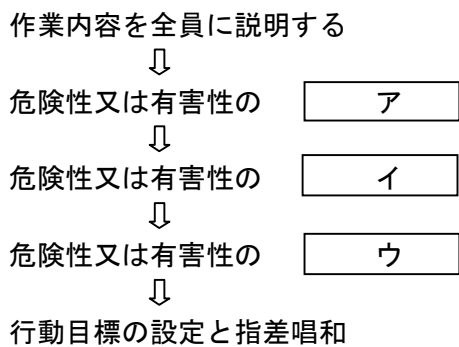
解答群

- | | | | |
|---|------------|------------|------------|
| ① | ア—始業前点検 | イ—安全ミーティング | ウ—安全工程打合せ |
| ② | ア—安全工程打合せ | イ—始業前点検 | ウ—安全ミーティング |
| ③ | ア—安全ミーティング | イ—安全工程打合せ | ウ—始業前検 |
| ④ | ア—安全ミーティング | イ—始業前点検 | ウ—安全工程打合せ |

3) 作業手順書の作成は、関係請負人が作成し、作業所長を中心に事前確認を行い周知徹底を図りますが、作業手順書作成時の留意事項で誤っているものを下の①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 内容が作業の実状に即していること
- ② 労働安全衛生法等の法令に違反していないこと
- ③ 作業者の熟練度、注意力、カン等に頼らないこと
- ④ 作業者全員がじっくり考えて理解できるように纏めること

4) リスクアセスメント危険予知活動の進め方についてその一手法の手順で、ア、イ、ウにあてはまる正しいものを解答群①～④より選択しその番号で答えなさい。



解答群

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| ① アー見積り及び評価 | イー洗い出し | ウー除去・低減対策を立てる |
| ② アー洗い出し | イー除去・低減対策を立てる | ウー見積り及び評価 |
| ③ アー洗い出し | イー見積り及び評価 | ウー除去・低減対策を立てる |
| ④ アー除去・低減対策を立てる | イー洗い出し | ウー見積り及び評価 |

5) 安全帯に関する記述で、誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 安全帯には、種類、名称、使用条件、製造年月、番号及び製造国名を表示。
- ② グリップには、使用親綱の径及びグリップの上下方向を表示。
- ③ 安全帯フックの取付けは、落下距離と衝撃荷重の実験値から、腰より上にすることが安全な使用要領と言える。
- ④ 安全帯の最大耐用年数は、使用頻度が少なく、かつ使用条件が過酷でない職種（職場）については、7年までとする。

6) 電気について、ア、イ、ウ、エ に当てはまる正しいものを下の解答群

①～④より選択しその番号で答えなさい。

電気には、（ア）と（イ）があり、（ア）は電気の流れる方向が変わらず、大きさも一定なもので、普通（ウ）という記号で表している乾電池や蓄電池はこの（ア）である。

（イ）は、電気の流れる方向や大きさが一定の時間的周期をもって変化するもので（エ）という記号で表す。建設用の仮設電気設備は、ほとんどの場合、（イ）を使用している。

解答群

- | | | | | |
|---|------|------|------|------|
| ① | アー交流 | イー直流 | ウーAC | エーDC |
| ② | アー直流 | イー交流 | ウーAC | エーDC |
| ③ | アー交流 | イー直流 | ウーDC | エーAC |
| ④ | アー直流 | イー交流 | ウーDC | エーAC |

7) 安全衛生関係法令の条文でいう「悪天候」に関する記述で、誤っているものを

①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 大雨とは、1回の降雨量が50mm以上の降雨をいう
- ② 大雪とは、1回の降雪量が30cm以上の降雪をいう
- ③ 強風とは、10分間の平均風速が毎秒10m以上をいう
- ④ 暴風とは、瞬間風速が毎秒30m以上の風をいう

8) 鋼橋架設等作業主任者の職務について、ア、イ、ウの組合せで正しいものを解答群 ① ~ ④ より選択し、その番号で答えなさい。

1. 作業の方法及び（ア）の配置を決定し、作業を直接指揮する
2. 器具、工具、（イ）及び保護帽の機能を点検し、不良品を取り除く
3. （イ）及び保護帽の使用状況を（ウ）する

解答群

- | | | | |
|---|--------|-------|------|
| ① | アー建設機械 | イー機械 | ウー監視 |
| ② | アー労働者 | イー機械 | ウー検査 |
| ③ | アー労働者 | イー安全帯 | ウー監視 |
| ④ | アー建設機械 | イー安全帯 | ウー検査 |

9) 足場等の安全基準に対する記述について、誤っているものを ① ~ ④ より選択しその番号で答えなさい。

- ① 墜落の危険を防止する手摺の高さは 85 cm 以上
- ② 足場板を長手方向に重ねるときは、支点上で 20 cm 以上重ねる
- ③ 吊り足場、張出し足場、または高さ 5 m 以上の足場の組立・解体作業は「足場の組立等作業主任者」を選任
- ④ 吊り足場の作業床は幅 40 cm 以上 隙間は 5 cm 以下

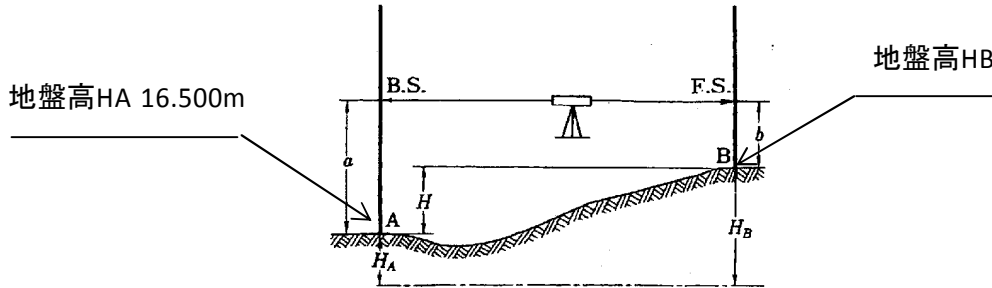
10) 玉掛け作業の災害を防ぐためのチェックポイントおよび基準の記述について、誤っているものを ① ~ ④ より選択しその番号で答えなさい。

- ① 合図者とクレーンの運転者で合図方法を打ち合わせているか？
- ② 使用前に、ワイヤロープの損傷、キンクなどを確かめているか？
- ③ 玉掛けワイヤロープの安全係数 $Sf = 5$ 以上
- ④ ワイヤロープ直径の減少が公称径の 7% を超えるものは使用禁止

架設概論の問題

- 11) 水準測量において (ア) に当てはまる正しいものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

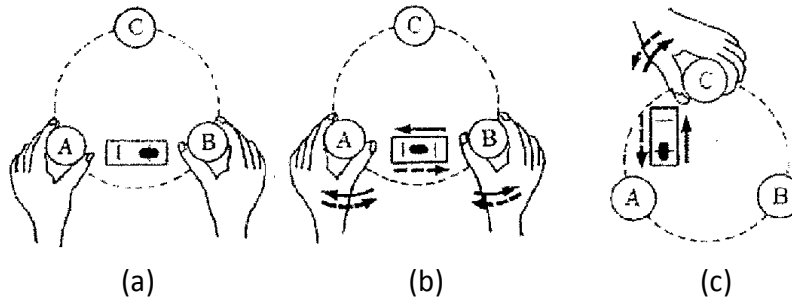
点Aの地盤高 H_A が16.500mと既知な時に、レベルにて点Aと点Bに立てた箱尺の読みが、 a が3.250m、 b が1.500mならば点Bの地盤高 H_B は (ア) となる。



- ① 21.250m ② 18.250m ③ 14.750m ④ 11.750m

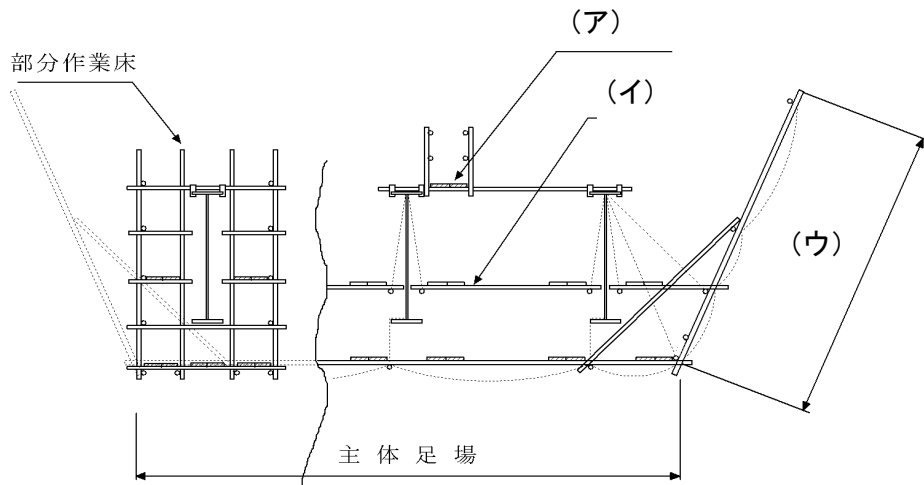
- 12) トランシットのすえつけにおいて (ア) に当てはまる正しいものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- (a) 上盤気ほう管を任意の整準ねじA, Bを結ぶ線の方に平行にする。
 (b) つぎに整準ねじA, Bを同時に操作して気ほうを中央に導く。
 気ほうは (ア) の動く方向に移動する。
 (c) 気ほう管を整準ねじA, Bを結ぶ線の方に直角の位置に回転させ、整準ねじCのみの操作で気ほうを中央に導く。



- ① 右手親指 ② 左手小指 ③ 左手親指 ④ 右手小指

- 13) 下図の架設足場の名称において、ア、イ、ウに当てはまる名称で正しいものを下の解答群①～④より選択しその番号で答えなさい。



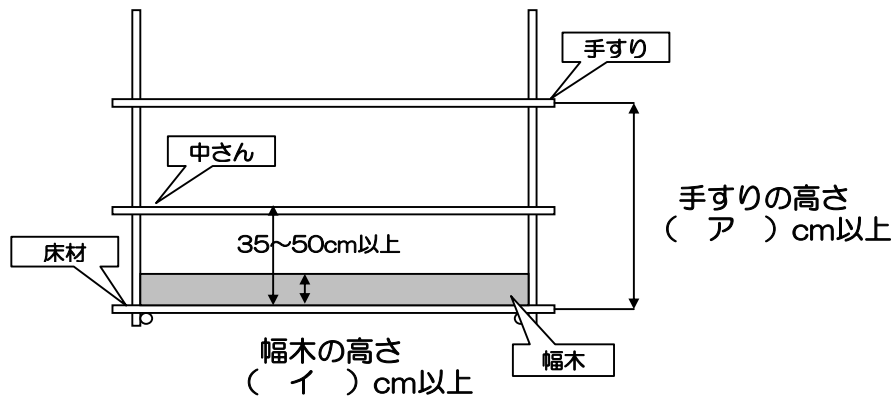
解答群

- | | | | |
|---|--------|--------|--------|
| ① | アー安全通路 | イー中段足場 | ウー朝顔 |
| ② | アー中段足場 | イー安全通路 | ウー朝顔 |
| ③ | アー中段足場 | イー朝顔 | ウー安全通路 |
| ④ | アー朝顔 | イー中段足場 | ウー安全通路 |

- 14) 足場に使用する安全ネットの使用条件に関する記述について、誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 網糸が、規定強度を有しないネットは使用してはならない。
- ② 人体又はこれと同等以上の重さを有する落下物による衝撃が、2回までは受けたものを使用してよい。
- ③ 破損した部分が補修されているネットは使用してよい。
- ④ 強度の明らかでないネットは使用してはならない。

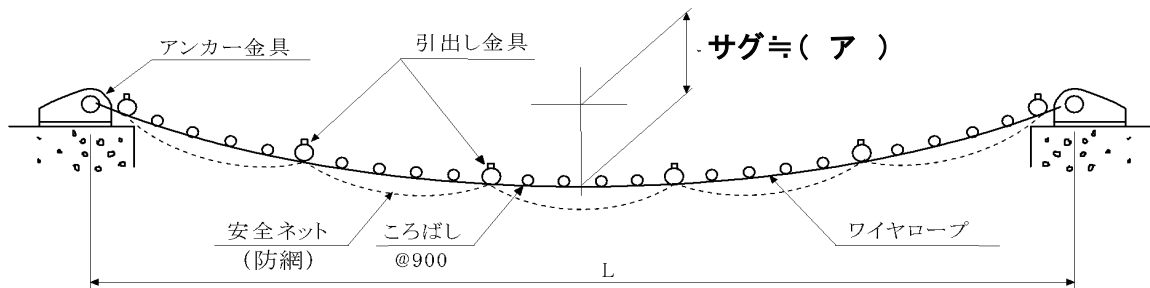
- 15) 下図の単管足場の寸法において、ア、イに当てはまる寸法で正しいものを解答群①～④より選択しその番号で答えなさい。



解答群

- ① ア - 75 イ - 5
- ② ア - 100 イ - 15
- ③ ア - 85 イ - 10
- ④ ア - 75 イ - 10

- 16) ワイヤブリッジのサグにおいて (ア) に当てはまる正しいものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

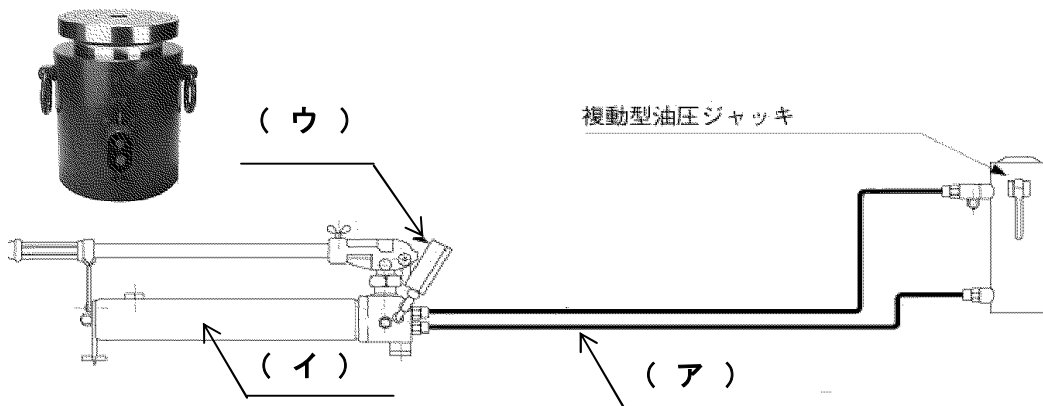


- ① $L/30$ ② $L/24$ ③ $L/12$ ④ $L/5$

17) 足場に関する記述について、誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 板張り防護工は、桁下に鉄道、道路がある場合に、飛来落下による第三者災害を防止するために、主体足場、朝顔を板材で防護する設備をいう。
- ② 昇降設備は作業者が高所に昇降できるための設備をいい、梯子を用いる場合は、別途安全設備を考慮する必要は無い。
- ③ 中段足場は桁高が1.5m以上の場合に設置し、桁高が3.3mを超える場合には、1.8mますごとに増設する。
- ④ 重量物用足場は、重量物の荷取り・仮置き・移動を行うために設置する。特に、重量物足場を部分的に設置した場合は、その範囲が認識できるように、足場上にマーキング等を施すことが望ましい。

18) 下図の鉛直ジャッキの名称において、ア、イ、ウに当てはまる名称で正しいものを下の解答群①～④より選択しその番号で答えなさい。



解答群

- ① ア - 押し側油圧ホース イ - 圧力計 ウ - 手動ポンプ
- ② ア - 戻し側油圧ホース イ - 圧力計 ウ - 手動ポンプ
- ③ ア - 戻し側油圧ホース イ - 手動ポンプ ウ - 圧力計
- ④ ア - 押し側油圧ホース イ - 手動ポンプ ウ - 圧力計

19) ジャッキに関する記述について、誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 補修用ジャッキは支承取替時の仮受け作業に用いる。供用下での工事となるため、安全ナットといったロック機構を有してゐる。
- ② センターホールジャッキはジャッキ芯が空洞となっており、ロッドを介して重量物を吊上げたり、PC鋼線や鋼棒にテンションを導入する時に使用する。
- ③ ポンプユニットは、貯油量（容量）、吐出量（スピード）、配管系統および制御方法によって選定する必要がある。
- ④ キャタピラー式送出し装置（シンクロジャッキ、エンドレス滑り装置）は、従来ローラー支点となっていたところに代わって、キャタピラー式装置を用いることで、桁との受圧面積が小さくなり、桁の補強が多くなる。

20) 架設時の測量に関する記述について、誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① トラッククレーンベント工法での架設途中においては、架設の各段階におけるベント基礎等の沈下量の測量が必要である。
- ② ケーブルクレーン工法での架設途中においては、鉄塔の倒れ、アンカーの移動量、ケーブルバンドのスリップ量の測量が必要である。
- ③ 片持ち式工法、直吊り工法、斜吊り工法では後からの修正が容易なため、架設完了時だけでのたわみ測量が必要である。
- ④ 桁の閉合においては、最終部材を落とし込む前には、閉合間隔、桁のたわみの測量が必要である。

21) 遵守法令における申請限度について、ア、イに当てはまる答えの組合せで正しいものを解答群①～④より選択しその番号で答えなさい。

項目	関係法令	内容	申請限度
施工計画書 →労働基準監督署への届け出	労働安全衛生法88条 労働安全衛生規則90条	・ 工事計画書 市街地工事：支間30m以上 山岳地工事：支間50m以上 地山の掘削（深さ10m以上）	作業開始 （ア）
建設物、機械等設置届 →労働基準監督署への届け出	労働安全衛生法88条 労働安全衛生規則87条	・ 吊足場、枠組み足場 （高さ10m以上） （組立～解体の期間60日以上）	作業開始 （イ）

解答群

- ① アー14日前 イー30日前
- ② アー30日前 イー30日前
- ③ アー30日前 イー14日前
- ④ アー14日前 イー14日前

22) 建設工事公衆災害防止対策要綱による落下物に対する防護について、()に当てはまる適切な角度で正しいものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

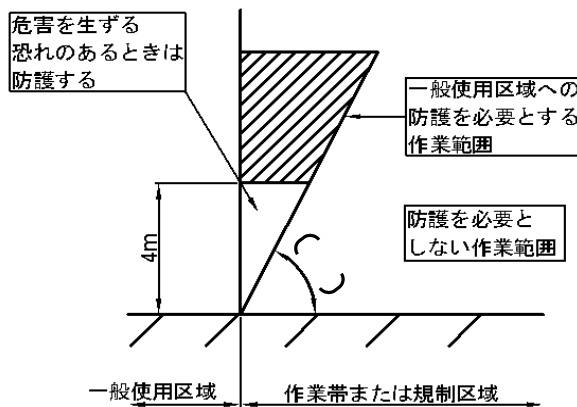


図-1 俯角の取り方

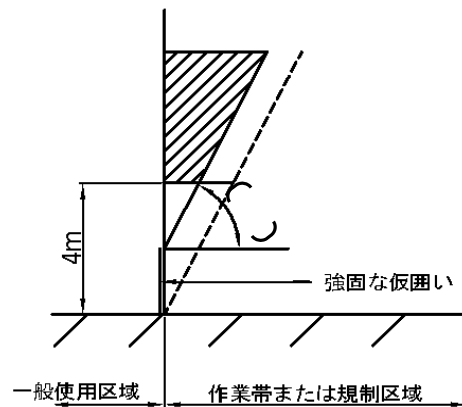


図-2 俯角を緩和する方法

- ① 55°
- ② 65°
- ③ 75°
- ④ 85°

23) 次の選定条件に最も当てはまるベント工法を示すイメージ図を①～④より選択しその番号で答えなさい。

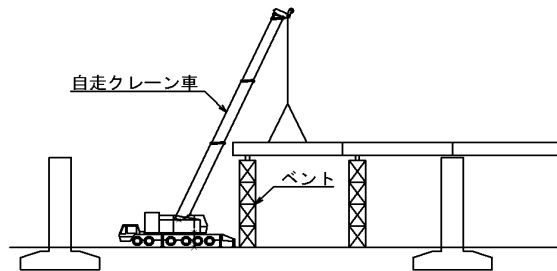
条件 1. 架設地点まで重機（TC, CC）が進入できる（水上部であっても、栈橋設置または瀬替えによって、進入可となる場合を含む）。

2. 桁下にベント設置が可能である（地耐力は確保されている）。

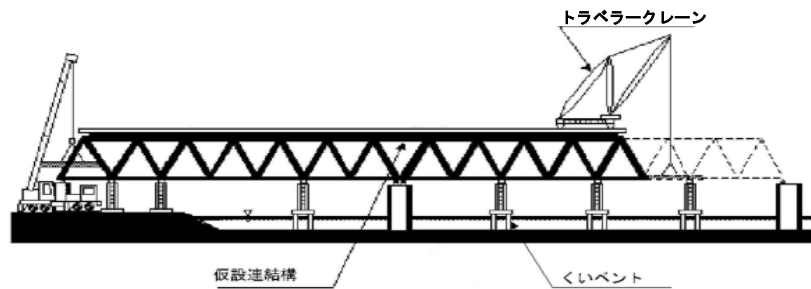
3. 架設地点への架設部材の搬入路が確保されている。

※TC：トラッククレーン, CC：クローラクレーン

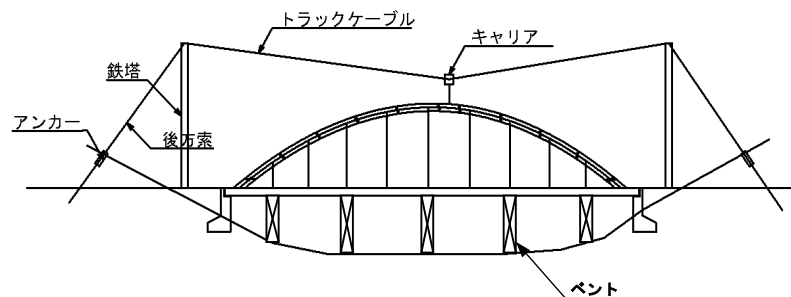
① 自走式クレーン（TC, CC）ベント工法



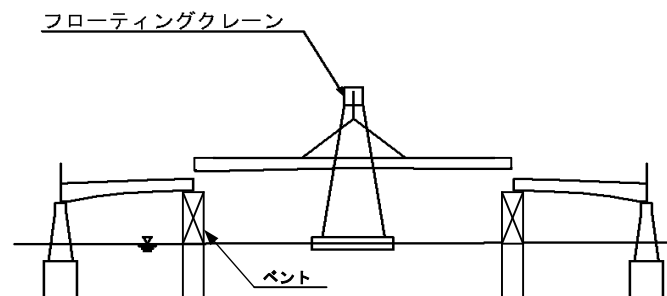
② トラベラクレーン（TRC）ベント工法



③ ケーブルクレーンベント工法



④ フローティングクレーン（FC）ベント工法



24) ベント工法における留意事項について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 地耐力が均等に得られるように整地する。
- ② ベント組立途中は、基礎梁のみで転倒防止を行う必要がある。
- ③ 地盤が降雨等でゆるまないよう養生する。
- ④ 長尺ベントは曲げ座屈しないよう検討する。

25) クローラクレーンの特徴について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

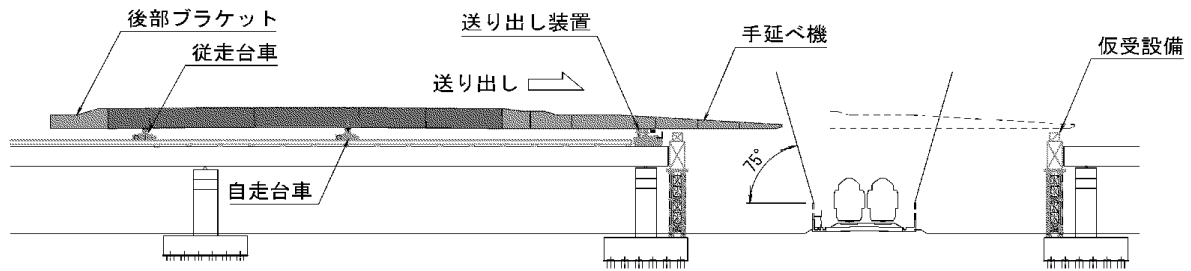
- ① クローラシュー全体で接地圧を分散できるため、比較的軟弱な地盤や栈橋上での施工に適している。
- ② ブームは固定式のため、旋回・移動等に制限を受ける。
- ③ 組立・解体作業のウエイトが高いため、組立・解体なしで継続して作業出来る工事に適している。
- ④ 水平に調整する機能がないので、5%程度までは施工が可能であるが、この傾斜を越える場合は地盤を整地するか作業架台等を設置するなどして据付けヤードを水平に保つ必要がある。

26) 相吊りは「原則として禁止」の事項であるが、やむを得ず相吊り架設を行う場合に関する記述について、誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 作業指揮者の直接指揮のもとに施工する。
- ② 相吊り架設に使用する移動式クレーンの定格荷重は、設計吊荷重の1.2倍の余裕を見込む。
- ③ 吊り部材の重心位置を確認して設計吊荷重を求める。
- ④ 相吊りと吊り走行の組み合わせで架設することは、厳に避けるべきである。

27) 手延べ式送出し工法の選定条件に関する記述について、誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 桁下空間の架設地点への重機進入が不可能であること。
- ② 架橋位置の延長隣接箇所に地組ヤードの確保が可能であること。
- ③ 手延べ機解体場所の確保が可能であること。
- ④ 架設系における桁補強が現場にて取付可能であること。



28) 送出し工法での留意点について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 台車・送出し設備の状態確認の通路を設置する。
- ② 作業中止時は、桁移動・転倒の防止措置を各支点で行う。
- ③ 自走台車は桁組立前に試運転を行う。
- ④ 送り出し方向は常に確認するが、ズレが生じた場合は、全ての送り出し作業が完了した後方向修正する。

29) 主桁を降下するときの吊下げ式降下設備における特徴について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① 機械設備の構築が必要である。
- ② 吊上げ設備が桁重心より上面にあり安定性が高い。
- ③ 構造がサンドル式設備より単純で運搬単位が軽量である。
- ④ 作業速度がサンドル式降下設備より速い。

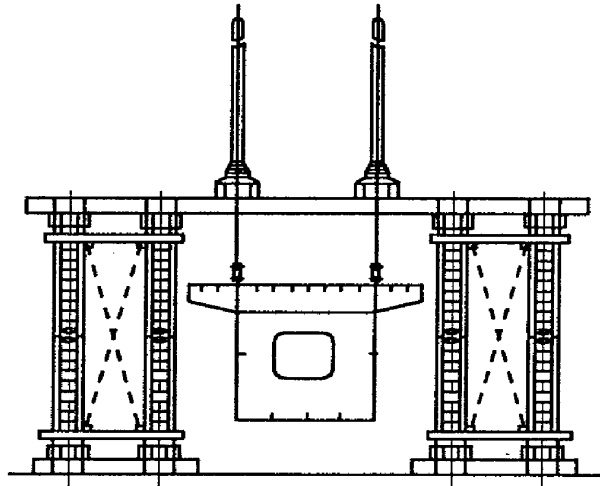


図-2 吊下げ式降下設備

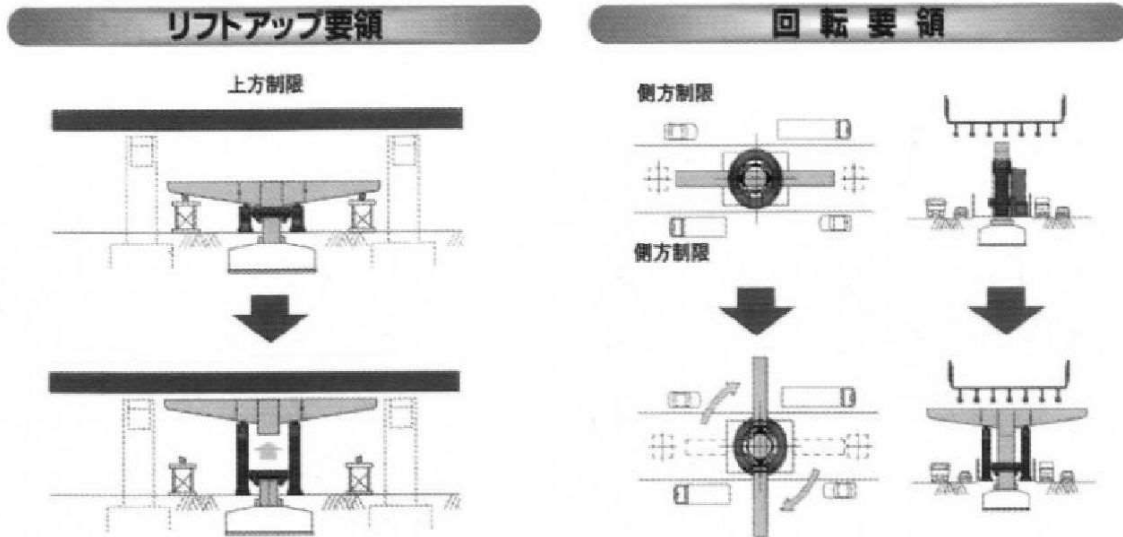
30) 片持ち工法で使用するトラベラクレーンと橋上クレーン（移動式クレーン）について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

- ① クレーン重量は、同規模の能力で比較すると、橋上クレーンのほうがトラベラクレーンより軽量である。
- ② 橋上設備について、トラベラクレーンは軌条設備、橋上クレーンは覆工設備が必要である。
- ③ 架設位置までの鋼桁部材の移動について、トラベラクレーンは運搬台車を使用し、橋上クレーンはトレーラまたはトラックを使用する。
- ④ 浮き上がり防止について、トラベラクレーンは橋体をアンカーとし、橋上クレーンはクレーン本体のカウンターウェイトで対処する構造となっている。

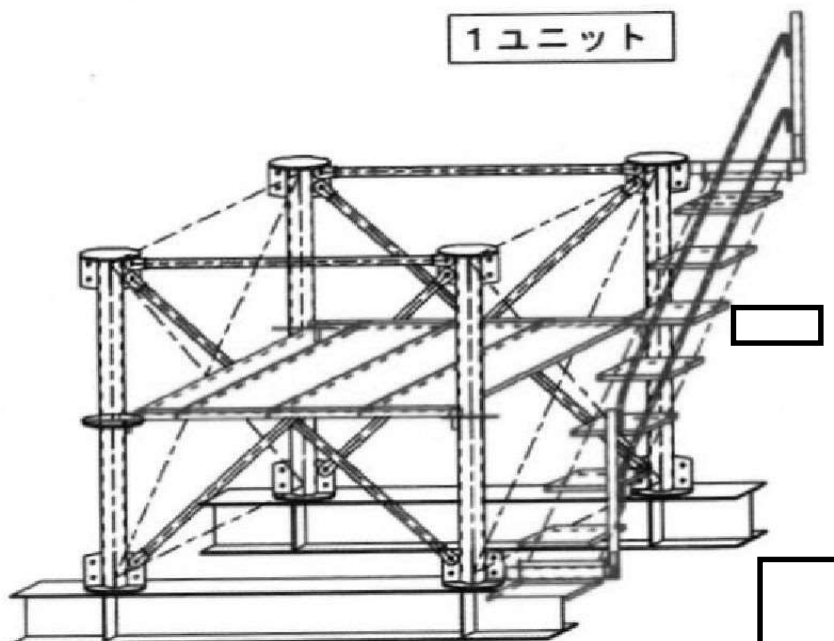
鋼橋の新しい現場施工に関する問題

31) 鋼橋の新しい現場施工に関する次の記述で、誤っているものを①～④より選択しその番号で答えなさい。

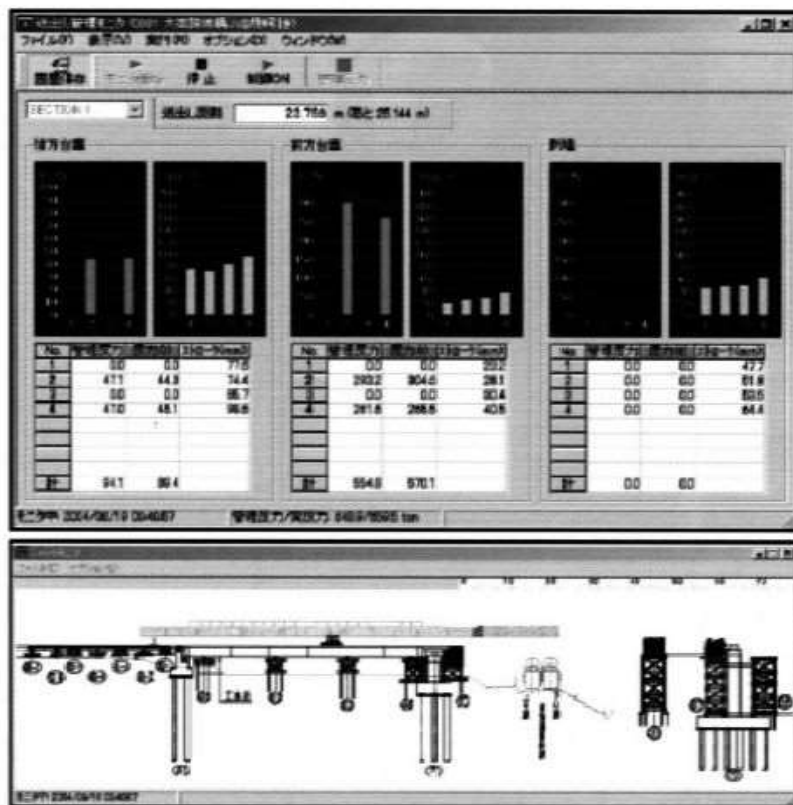
- ① **リフトアップ水平回転架設工法**
 制限されたヤード内で、交通規制を最小限として鋼製脚を架設する工法である。上方高さ制限下での架設が可能であり、また交通規制・夜間作業が大幅に低減される。



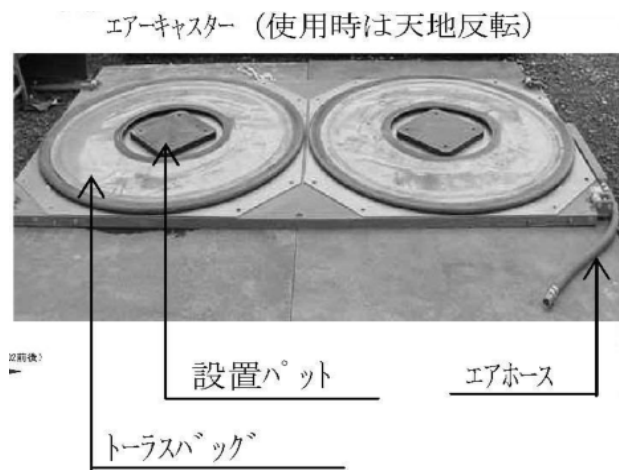
- ② **安全設備先行型ベント**
 ベント組立時に作業床・昇降設備・手摺を地上で先行設置出来るユニット構造とし、高所作業となる各階層施工時には堅固な手摺・作業床が先行確保されている。



- ③ **送出し総合管理システム**
 送出し架設時に台車および送出し装置の反力を自動的に調整するシステムで、送出し時間の短縮に寄与する。またWebカメラ、電話回線を利用してリアルタイムに「遠隔監視」の機能も備えている。



- ④ **エアークャスターを用いた鋼桁橋の送出し工法**
 エアークャスターを使用した送出し工法で、エアークャスターは面圧が小さいため地組立てヤード内の地耐力が弱い場合に適する。また機高が高いため送出し設備は多くなる。



工程計画・作業手順の問題

- 32) 工程計画について、（ア）に当てはまる語句を①～④より選択し、その番号で答えなさい。

工程計画の目的は（ア）であるが、工事の進め方を決める計画でもあるので、工事の安全・品質・コストがこれによって決まるといえる。

- ①安全確保 ②施工順序の確認 ③工期の確保 ④人員計画

- 33) 工程計画について、（ア）に当てはまる語句を①～④より選択し、その番号で答えなさい。

工程計画に当たっては対象作業の（ア）、1日当たりの平均作業量および施工速度を検討しておく必要がある。このためには施工方法・使用機材・投入人員が決まっていなければならない。

- ①作業可能日数 ②安全管理 ③施工順序 ④休日数

- 34) 作業手順書の目的について、（ア）に当てはまる語句を①～④より選択し、その番号で答えなさい。

不安全な行動をなくすためには、（ア）のやり方を決め、作業者に教え、これを守らせる。この（ア）のやり方を示すものが作業手順書である。

- ①危険な作業 ②不安全な行動 ③基本事項 ④正しい作業

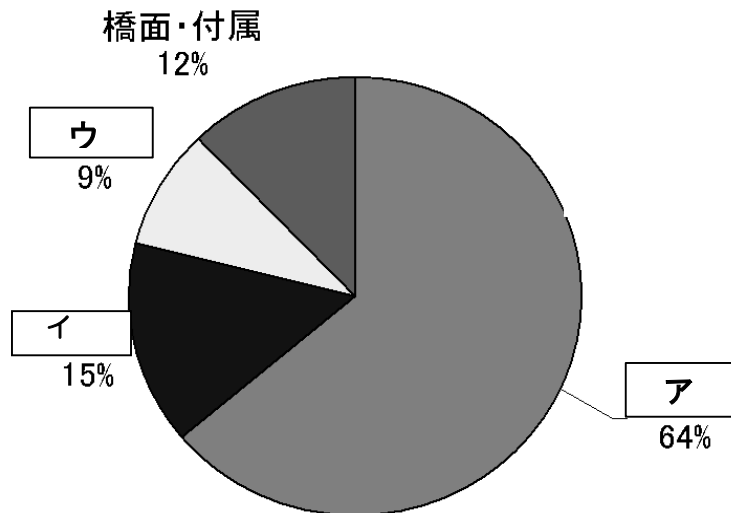
- 35) 進捗管理について、（ア）に当てはまる語句を①～④より選択し、その番号で答えなさい。

計画の実施状況をチェックし、（ア）を把握して早期に処理し、突貫工程を作らぬようにするのが工程管理の目的であり、現地における登録橋梁基幹技能者に期待される重要な役割である。

- ①施工内容 ②問題点 ③品質管理 ④気象状況

維持・補修の問題

- 36) 支承付近に着目した箇所別損傷において、ア、イ、ウ に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。



	ア	イ	ウ
①	床版	桁端部	下部工
②	床版	下部工	桁端部
③	桁端部	床版	下部工
④	桁端部	下部工	床版

- 37) 鋼構造物の変状のうち、「ボルトの緩み、脱落」の内容について、以下のア、イ に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

高力ボルトの（ア）は（イ）以上のボルトが突然脆性破壊する現象である。

	ア	イ
①	遅れ破壊	F 8 T
②	遅れ破壊	F 1 1 T
③	進み破壊	F 8 T
④	進み破壊	F 1 1 T

- 38) 「維持管理における足場」について、以下の（ア）に当てはまる記述として正しいものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

補修・補強工事においては、施工上の制約から足場上で部材の取り込み・運搬を行う事例も少なくない。この場合、通常の吊り足場では許容荷重を超過してしまうため、構成部材の強度を上げたり補強したりして（ア）を設置する必要がある。

- ① パイプつり足場
- ② 重量物用パネル足場
- ③ ワイヤブリッジ転用足場
- ④ 登り栈橋

- 39) 「補修・補強」の支承取替工法について、以下のア、イに当てはまる組み合わせで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

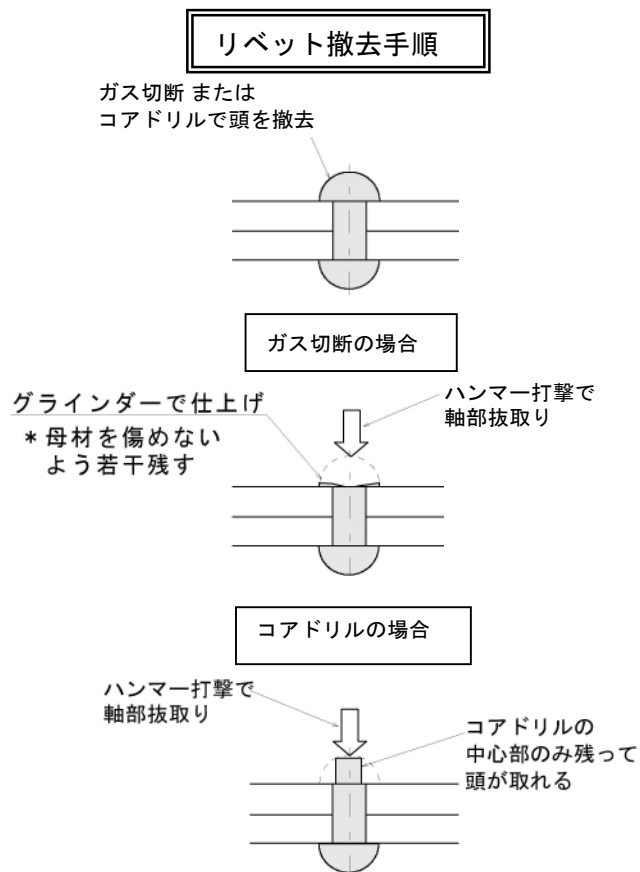
最近では（ア）向上を目的に、（イ）に交換する工法が主流である。

- | | ア | イ |
|---|-----|---------|
| ① | 耐久性 | 免震型ゴム支承 |
| ② | 耐久性 | 鋼製支承 |
| ③ | 耐震性 | 鋼製支承 |
| ④ | 耐震性 | 免震型ゴム支承 |

40) 「リベット撤去工」について、以下の **ア**、**イ** に当てはまる組合わせで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

リベットの撤去作業は、ガス切断による方法とコアドリルによる方法がある。
 (**ア**) による方法は、リベット撤去時に (**イ**) が不要なため、母材に与える影響が少ない。

- | ア | イ |
|----------|----------|
| ① コアドリル | 入熱 |
| ② コアドリル | 加圧 |
| ③ ガス切断 | 加圧 |
| ④ ガス切断 | 入熱 |



共通テキスト問題

- 41) 登録基幹技能者の役割について、次の記述のうち最も**不適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。
- ① 現場の実態と状況に応じた、施工方法の提案、調整を行う。
 - ② 現場の作業を効率的に行うために技能者の適切な配置を行う。
 - ③ 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導を行う。
 - ④ 前工程、後工程に係わらず自社の技能者、作業員にのみ連絡・調整を行う。
- 42) 登録基幹技能者に求められる能力について、次の記述のうち最も**適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。
- ① 出来上りの点検と工事の是正は一般の技能者に任せる。
 - ② 未熟練の作業者をレベルアップさせるOJTを行う能力を有する。
 - ③ 技術者の示す施工計画等に対しては、自身の経験と勘だけで提案する。
 - ④ 作業手順は過去の現場で体験した方法を現場状況にかかわらず推し進める。
- 43) 登録基幹技能者に求められる能力に関する、次の記述のうち最も**不適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。
- ① 原価管理に係る基本的な知識を有し、常にコスト意識をもって行動することができる。
 - ② 他の工事で使用した作業手順書を使用する。
 - ③ 工事に関係する技術者並びに他業種の職長とのコミュニケーションに気を配ることができる。
 - ④ 相手の立場や状況を理解する気持ちの余裕をもつことができる。

- 44) 登録基幹技能者に求められるOJTの「指導・教育の基本認識と目標設定」に関する次の記述のうち最も**不適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。
- ① 上司のOJTによる信頼とコミュニケーションは、片手間にとか暇があるから行うという考え方により得られる。
 - ② 適正に合わせた指導育成を行うには上司の能力レベルから目標を定めるのではなく、部下の能力レベルに合わせた目標をたてる。
 - ③ OJTで幅広い職務能力の育成のためには、できるだけ外部との接触の機会を提供し、組織外の実態や考え方などに触れて視野の拡大ができる環境を設ける。
 - ④ 日常の仕事を通して行う指導・教育が可能な目標・項目であること。
- 45) 施工管理とその目的に関する次の記述のうち最も**不適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。
- ① 施工計画を立て、施工途中において計画通りの工程と要求される品質や形状のものが施工されるように管理することをいう。
 - ② 施工手段とは、人または労力、運搬、時間、の3つをさす。
 - ③ 社会的制約に基づく管理とは、安全管理、労務管理、環境保全管理、その他の管理をさす。
 - ④ 施工管理の三要素とは契約に基づく、原価管理、工程管理、品質管理の三管理をさす。
- 46) 施工に当たって工程、原価、品質の一般的関係に関する、次の記述のうち最も**不適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。
- ① 工程と原価の関係では、施工を遅らせて施工数量を少なくすると単位数量あたり原価は高くなっていく。
 - ② 原価と品質の関係では悪い品質のものは安く出来るが、良い品質のものは原価が高くなる。
 - ③ 品質と工程の関係では品質の良いものは一般に時間が早まり工程は速くなり、施工を速めて突貫作業をするとその分品質は良くなる。
 - ④ 工程、原価、品質との間には相反する性質があるのでこれらの調整を図りながら施工を計画し管理することが必要である。

- 47) 施工計画のための事前調査の必要性に関する、次の記述のうち最も**適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。
- ① 工事の失敗と成功の分岐点は事前調査より、設計変更の有無で決まる。
 - ② 事前調査のうち契約条件の検討では、契約関係書類や設計図書などにより、建設目的物の工事内容を十分理解して調査する必要がある。
 - ③ 現場条件の事前調査は困難であるので施工計画に反映させなくてもよい。
 - ④ 現場条件の事前調査は、現場に出向くことがなかなか困難であるので、一人が最低1回行えば十分である。
- 48) 資材管理の受け入れ検査に関する、次の記述のうち**適切でないもの**を1つ選びその番号で答えなさい。
- ① 納品書の内容と搬入された資材の仕様の相違や数量の不足がないか。
 - ② 搬入された資材に破損や変質等の異常がないか。
 - ③ 付属品や予備品が揃っているか。
 - ④ 過不足や不良品があった場合、本社購買担当者に速やかに連絡し処置してもらう。

49) 建設業法令遵守ガイドラインのうち【見積り条件の提示（建設業法第20条第3項）】に関する、次の記述のうち最も**不適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。

- ① 元請負人が具体的な工事内容の見積条件を書面により示して、下請負人に見積りを行わせた。
- ② 元請負人が下請負人から工事内容等見積条件に関する質問を受けた際、元請負人が、書面で具体的内容の回答を行った。
- ③ 工事一件の予定価格が500万円に満たない工事については、即日口頭にて見積りさせた。
- ④ 工事一件の予定価格が700万円の工事については、見積り期間を10日以上の見積り期間を設けた。

50) 労働安全衛生法に関する、次の記述のうち最も**不適切なもの**を1つ選びその番号で答えなさい。

- ① 統括安全衛生責任者を選任すべき事業者以外の関係請負人は、安全衛生責任者を選任しなければならない。
- ② 事業者は労働災害を防止するための管理を必要とする作業で、政令で定める作業区分に応じて、職長を選任しなければならない。
- ③ 事業者は、労働者の作業内容を変更したときは厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。
- ④ 事業者は、労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、医師による健康診断を行わなければならない。

受講番号

採点欄

※この欄には記入しないでください

登録橋梁基幹技能者講習 平成25年度試験問題の解答用紙

安全管理の問題

問題	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
解答	②	④	④	③	①	④	②	③	④	③

架設概論の問題

問題	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)
解答	②	③	①	②	③	③	②	④	④	③

問題	21)	22)	23)	24)	25)	26)	27)	28)	29)	30)
解答	①	③	①	②	④	②	④	④	③	①

鋼橋の新しい現場施工に関する問題、工程計画・作業手順の問題、維持・補修の問題

問題	31)	32)	33)	34)	35)	36)	37)	38)	39)	40)
解答	④	③	①	④	②	③	②	②	④	①

共通テキスト問題

問題	41)	42)	43)	44)	45)	46)	47)	48)	49)	50)
解答	④	②	②	①	②	③	②	④	③	②